

現代社会 (Current Society)					担当教員
					教授 野崎 亜紀子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	2年次 後期	講義	1.5単位	選択	

【概要】

現代社会には、様々なものの考え方がネット上、紙面上、様々な空間に広がっています。本講義はこうした現状に着目した言論、特に〈現代社会〉で生じているさまざまな問題を取り上げ、この問題を自ら考え、表現するための知的道具立てを獲得するために社会科学的思想言論を読み、理解し、議論します。講義は演習形式で実施し、テキストとする文献を輪読、報告、質疑、議論を行います。これまでに取り組んだテーマ例) ヘイトスピーチ、消費税増税と軽減税率、景観保護問題、アフーマティブ・アクションとは？など。

【授業の一般目標】

社会の中に数多く生じている、解決が求められる問題（今後のエネルギー政策をどうするか、など）には、私たちの思考とは切り離された絶対的な解答は、ほとんど存在しません。そして多くの場合、何をどのように捉え、考え、考えの異なる人を説得し、説得され、納得が得られるかによって一定の（時に暫定的な）公共的決定を行います。本講義では、物事を論理的に考え、それを言葉で表現し、たがいに言葉を使って相互理解あるいは意見の違いを知ることを目標とします。

【準備学習(予習・復習)】

(1) 毎回該当箇所を読み、自身に意見を持って出席すること、(2) 担当者は担当回について、内容の報告（発表）をすること、(3) 受講生は講義内で意見を述べ、議論に参加すること

以上3点が求められます。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	「現代社会」を学ぶために	野崎	本講義の概要を確認し、講義の基本方針、進め方、取り組み方を理解する。
2	輪読・発表・質疑	野崎	テキストを読み解き、発表者の意見を聞き、質疑を通して理解し、自身の意見を言葉で表現するとともに、その違いを認識する。
3	同上	野崎	同上
4	同上	野崎	同上
5	同上	野崎	同上
6	同上	野崎	同上
7	小括	野崎	前半の小括を行う。
8	輪読・発表・質疑	野崎	テキストを読み解き、発表者の意見を聞き、質疑を通して理解し、自身の意見を言葉で表現するとともに、その違いを認識することができる。併せて発表方法を工夫する。
9	同上	野崎	同上
10	同上	野崎	同上
11	同上	野崎	同上
12	同上	野崎	同上
13	同上	野崎	同上
14	ワークショップ	野崎	本講義を踏まえて、自らの主張を報告する形式で、報告・質疑を行う。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 必要に応じて購読テキストについて別途講義時に提示します。

参考書 必要に応じて、提示・配布します。

【成績評価方法・基準】

成績評価は、演習への取り組み（演習への準備、発言等、担当回の発表内容）を総合的に評価します。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：金曜5限；授業内容に関する質問がある場合には研究室（育心館4F）に直接来るか、または、メール [a-nozaki@mb.kyoto-phu.ac.jp] でも受け付けます。出張等でオフィスアワーを持っていないときもありますので、メール等で前もって尋ねてください。